

## こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

寒さ厳しい日々が続いておりますが、皆様に於かれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、愛知県の未来を決める愛知県知事選挙が2月1日に執り行われ、投票率に関しては史上2番目に低い県平均34.93%ではありましたが、豊田市に関しては49.51%と、安城市および町村地域(安城市は市長選挙と同時実施)を除けば県内最高の投票率となっており、豊田市選出の愛知県議会議員の一人として、改めて豊田市民の皆さんの政治に対する関心度の高さを誇りに感じております。

また、選挙結果については既にご案内の通り、共産党を除く主要政党全てが推薦した現職の大村秀章氏が二期目の当選を果たされましたが、大村知事は選挙戦を通じて、『日本一元気な愛知をつくり、日本の未来をつくる』として、2027年のリニア中央新幹線の開業に向けた街づくりや、自動車産業・航空宇宙産業等の育成支援を通じての東京一極集中阻止を明言すると同時に、医療・介護・子育て支援の充実、更には大規模自然災害への備えの充実等を掲げ、17日間に及ぶ長期戦を戦い抜かれましたが、獲得票数約163万票という結果は、大村知事の主張が広く県民の皆さんに受け入れられた結果と理解しております。

愛知県では今回の選挙戦における大村知事の公約ベースとなった『あいちビジョン2020』を昨年3月に策定し、また、ビジョンを推進する行財政体制の確立を目指した次期行革大綱『しなやか県庁創造プラン』、更には『第3次地震対策アクションプラン』も昨年末に策定しましたが、今後は公約実現ならびに各計画の実施に向けて、大村知事の更なるリーダーシップの発揮に期待すると同時に、二元代表制の一翼を担う県議会の一員として、私も頑張っまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 